

yagotosanbunko

八事山文庫

2025・秋
第八十四号



星の神秘・山の霊力

住職 西部 法照

利便性と効率、そして果てしない人間の欲望を追い続けて止まない現代社会。

しかし、今日社会の現実とは毎日のように起こる凶悪犯罪や自然災害、疫病の流行、事故、そして戦争。異常の連続である。

半世紀前、誰がこの混乱の世界を予想したであろうか。国内だけではない、世界中が混乱の真下、手の施しようもないと思われるほどにそれが続き、そして広がる。地球は、そして世界は、決して人間の手中にあるのではないことを見せつけられている気がする。人間は地球に対して、天地自然の生命に対して、素直に謙虚であるべきではないだろうか。今そのことを痛切に感じているのは私だけではないだろう。もっと早く、もっと大きく、もっと便利に、もっと、もっと、それが人生の仕合せにどう繋がるというのだ。

自然界は神秘に満ち満ちている。

「谷、響きを惜しまず 明星来影す」

高野山の祖、空海上人はその著作『三教指帰』の中にそのように書きとめている。自らの宗教的体験であり、神秘的体験に他ならない。

自然界は、神秘に満ちている。アニミズム的生命観、ホリスティックな生命観、世界観こそが密教的である。密教とは、決して秘密の教えなどではない。目に見る世界のその奥に、音に聞く世界のその奥に、肌を感じる風のその奥にある神秘を感じし、享けとめるべき生命観を密教世界という。享けとめた年齢であるから位牌には「享年」と書く。享年は決して位牌専用語などではない。人生を天地自然の生命から有難く享けとめたと感じるのが享年である。

星の神秘、山の霊力

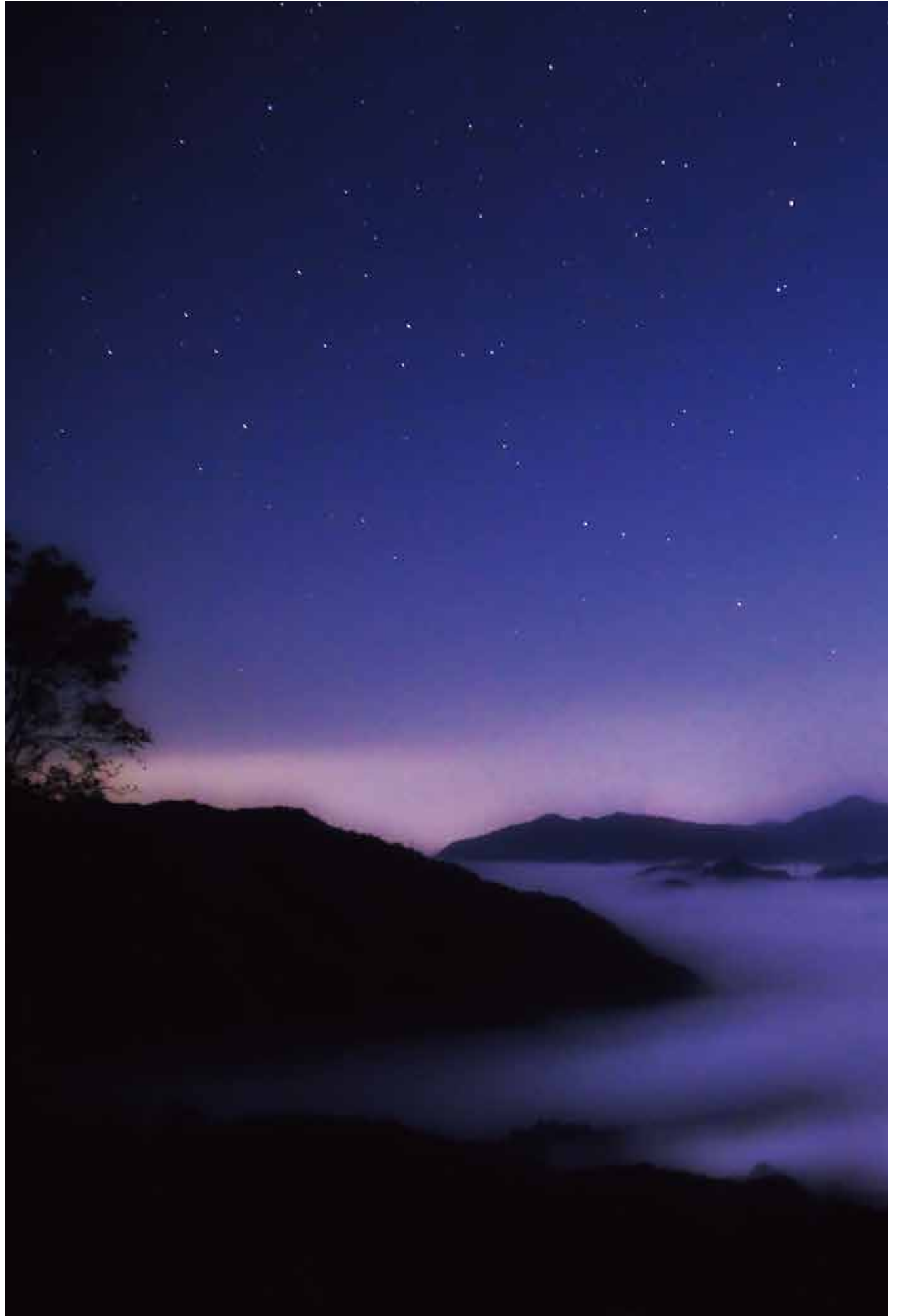
高野山は古代からの霊山、山岳修行の道場である。しかし、今日ではインバウンドの外国人が押し寄せる人気観光地であ

り、有難いような有り難くないような現実ではある。

高野山の祖、空海の足跡を慕って高野山に詣でることは今日では快適な旅である。しかし、その高野山において、その大自然の響きと神秘をどこにおいて感受することができのかを想ってみるとき、さてと考えるのもある。

勿論「谷、響きを惜しまず 明星来影す」は、四国の山中、若しくは大海原に臨んでの空海における実体験である。京の都から遠く離れた紀伊の山中に一院を建立し、修禪の道場としたからには高野山をいただく紀伊の山中、自然そのものが神秘の道場に他ならないと「沙門空海」は享けとめていたのだろう。

そこで、その追体験を実現してみようと計画している。同行参加されたいお方は、「興正寺住職室担当」までお問い合わせください。



八事の火まつり

千燈供養会

「八事の火まつり」として知られる興正寺千燈供養会は、境内に千の明かりを灯して御霊の供養を致します。本尊御宝前において真言秘奥の柴燈大護摩祈禱により、天下泰平・五穀豊穰・家内安全などを願ひ皆様を幸せに導きます。

十月二十五日(土)

※荒天時予備日 十月二十六日(日)

当日の予定

17:00	僧侶行列 出発
17:30	柴燈大護摩祈禱 開始
18:00頃	柴燈大護摩壇 点火 特別大護摩祈禱・火渡り
19:00頃	下山

※天候等による変更のお知らせは公式サイトをご確認ください。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。



公式サイト



燃え上る焰に込める誓いと祈り

高野 恵玄 僧侶

ほの明るく照らす燈火、打ち鳴らされる太鼓とほら貝の響きに導かれ、空高く立ち昇る炎のもとへ。晩秋の夜、八事山興正寺「千燈供養会」では、真言宗秘奥の柴燈大護摩祈禱が荘厳に執り行われ、人々の願いを火に託して祈願する「八事の火まつり」として多くの方々が訪れます。

ご祈禱の場となる護摩壇づくりは、毎年僧侶たちの手仕事に

よって行われます。準備は八月のお盆明けから始まり、結果に使う竹を切り出し、御幣を整え、十月になるといよいよ護摩壇を組み上げます。また、三百を超える奉納提灯の文字も、心を込めて一字一字書き入れていきます。本堂に掲げられた提灯が静かに出番を待つ姿、それ自体も祭りの一部なのです。すべての過程に、仏様への祈りと訪れる方々への想いを込めて準備を整えます。

日頃は御堂内で焚かれる護摩祈禱を、夜空の下で体験するという機会は、皆さまの日常においては、有り難い“ことなのではないでしょうか。護摩の火は単なる演出ではなく、仏の智慧そのものであり、その前に立つことで人は、驚きや、畏敬の

念を体感し、自らの内に宿る祈りの力に気づかされると言われています。火が上がるのは、仏様の力が強まる証ですから、より多くの方々が願いを託した護摩木をくべてくださることで、その火はさらに大きく、強くなつていきます。

その祈りをより深く届けるためには、ただお願いするのではなく、自らの誓いを立てて祈ることを大切にしていただけならと思います。自らの誓いを立てるといふ行いを通じて、それまで「当たり前」だった日常が、かけがえのない“ありがたい”ものへと変わっていきます。そうした気づきを心静かに灯す機会として、八事の火まつりにお越しただければ幸いです。

稚児行列

日時 十月二十五日(土)

※荒天時予備日 十月二十六日(日)

進列開始／①十三時の部

②十七時の部

役稚児(①②限定五名)

巫女衣装で参列いただきます。

※興正寺の墓地に所縁のあるご家族、もしくは過去参列したことのある方。

対象 八歳～中学生の女児

祈禱料 一万三千円

授与品 御守・特別護摩木・おみやげ

一般稚児(①②各百名程度)

対象 0歳～中学生の男女

祈禱料 八千円

授与品 御守・特別護摩木・おみやげ

申込期限 九月三十日(火)

稚児行列詳細、WEB申込はこちらから



奉納提灯

参道や柴燈大護摩壇の結界に掛けられる提灯です。奉納施主名をお書きします。



数量 限定数

なくなり次第終了

奉納料 一燈 五千円

申込期限 九月三十日(火)

供養燈籠

先祖、故人のご供養をする燈籠です。参道を照らす燈明ともなります。



奉納料 一基 千円

申込期限 十月十九日(日)

特別護摩木

奉納料 一本一願 五百円
申込期限 当日まで受付可

千燈供養



高野 恵玄 僧侶

秋季彼岸会

仏教では、わたしたちの生きている世界を「此岸」、生と死の境界を越えた世界を「彼岸」といいます。太陽が真東からのぼり真西に沈む秋分の日、東の此岸と西の彼岸がもつとも近づく日です。古来より秋分の日前後三日を合わせた七日間に供養をすれば極楽浄土へいくことができる。とされ、先祖供養が行われます。



合同供養会

日時 九月二十日(土)～二十六日(金)
 十時～十二時半／十四時
 ※受付は各回十五分前まで
 (所要時間四十分～五十分)
 場所 密厳堂(受付納経所)
 卒塔婆 一尺 五千円／四尺 一万円
 五尺 一万五千円／六尺 二万円
 申込期限 郵便 九月十三日(土)
 来寺 当日

※卒塔婆をお書きするため、事前のお申し込みをお願い致します。当日のお申込みは、次の座でおつとめさせていただきます。

お供物

秋季彼岸会の期間中、ご先祖さまにおはぎやお花をお供えいたします。
 施主名を堂内にあげさせていただきます。
 奉納料 一口 千円
 申込期限 郵便 九月十三日(土)
 申込期限 来寺 当日

特別永代祠堂法会(招待制)

西山本堂奥に位置する霊牌殿に特別永代祠堂位牌をお祀りされている方を対象とした法会です。
 日時 九月二十日(土)
 場所 西山本堂
 申込 別途送付する招待状をご確認ください。

興正寺施主慰霊法会

日時 九月二十三日(火) 十六時
 場所 西山本堂
 お布施 お気持ちでお納めください。

人形仏具供養会

思い出がたくさんつまった人形や長年使ってきた仏具を供養します。
 彼岸期間中は事前受付をいたしますので、供養したい人形や仏具がありましたらお持ちください。
 日時 九月二十六日(金) 十三時
 場所 西山本堂
 供養料 一口 三千円より
 申込 供養品の受付は来寺のみです。
 九月二十日～二十五日
 納経所(九時～十七時)
 九月二十六日
 西山本堂(九時～十三時)

●一口の目安

三辺の合計が100cm以内の段ボール箱、もしくは45ℓ相当の袋に入る程度。(大きさが100cmを超える場合は、一口五千円以上となります)

●供養品例

雛人形、五月人形、ぬいぐるみ、御守、御札、念珠など。
 ガラスケース入りの人形などは、安全の為、ケースを外し人形のみお持ちください。素材によってはお預かりできない場合がございますので、ご了承ください。
 仏具は事前に電話でご相談ください。

密厳堂

令和七年春、新たに完成した御堂です。木造平屋建て(伝統木造軸組工法)で建立しました。奈良・平安時代の趣を体感できる空間で、ご供養・ご祈祷の御堂でもあります。



唐破風の門を入ると
 回廊と苔庭の先にお堂が見えます

お堂までは
 緑の小径を散策して
 季節の移ろいを感じていただけます

本尊と四仏

密厳堂には次の仏さまが祀られています。
 本尊 金剛界大日如来
 四仏 毘沙門天・不動明王・八幡大菩薩・弘法大師

両部曼荼羅(金剛界曼荼羅・胎藏曼荼羅)
 真言八祖(龍猛菩薩・龍智菩薩・金剛智三蔵・不空三蔵・善無畏三蔵・一行阿闍梨・恵果阿闍梨・空海)
 十二天(日天・月天・地天・梵天・毘沙門天・伊舍那天・帝釈天・火天・閻魔天・羅刹天・水天・風天)



合同供養・祈祷

令和七年七月一日より、密厳堂では護摩を焚き、供養・祈祷を行います。護摩木をご自身で炎に投じて参拝いただきます。

日時 毎日 十一時～十四時
 ※仏教行事と重なる日は行いません
 お布施 供養 五千円・一万円・三万円
 祈祷 五千円・二万円・三万円
 申込 ①来寺
 当日、開始の十五分前までに納経所にお越し下さい
 ②電話(十時～十七時)



圓照堂の参拝について

下記の期間は、お位牌・お骨出しはご予約いただけませんので、ご了承ください。
 期間／9月20日(土)～26日(金)

密厳堂落慶法会

去る五月十日、十一日に興正寺の新たな御堂 密厳堂の落慶法会を執り行わせていただきました。多くの方に参加いただき無事二日間の行事を終えることができました。

この度の法会を計画するにあたり、地域、檀信徒の皆さまにとって興正寺がどのような役割を果たすことができるのかを改めて考える機会となりました。その中で神仏や宗派を超えて、訪れる方々の心の安寧につながる事がお寺の大きな役割であると再確認いたしました。皆さまに折にふれ思い出し、訪れていただく場であるために、建築の段階から子どもたちによる土壁塗り体験や瓦奉納などを実施し、ご縁を広げてまいりました。法会にはそうした方々もお越しいただき、ともに完成を喜んでいただけたことは有難いことです。

また法要としては原点に立ち返り、伝統的な声明と庭儀を行い、真言の音の響きに真髓を見いだしたお大師様の教えを表現することを目指しました。本尊大日如來の胎内に納入した仏舎利を請来したスリランカの寺院から参列いただいた僧侶方にも読経いただきました。

この先永い年月を皆さまとともに歩んでゆけますよう、僧侶職員一同邁進してまいります。ご来寺の際は、ぜひ密厳堂にもご参拝ください。



五月十日(土) 密厳堂落慶法要



五月十一日(日) 記念行事

合同祈禱
稚児行列
秘仏特別開扉
記念茶会
尾張万歳と餅まき



稚児行列



尾張万歳



記念茶会



合同祈禱



餅まき



秘仏特別開扉

行事のご案内

七五三身体健全祈禱会

節目の歳を迎えたお子さまの健やかな成長を願う七五三。色づいた紅葉のもと、ご家族揃ってハレの日をお祝いください。

合同祈禱会日程

十二月 二日(日)・八日(土)・九日(日)

十五日(土)・十六日(日)

二十二日(土)・二十三日(日)

二十九日(土)

※時間については興正寺公式サイトをご確認ください。



〔提携フォトスタジオ〕SNOW*IN 052-893-7528／アクエリアス 052-807-7677

受付 光明殿一階納経所

ご祈禱 密厳堂

対象 令和元年生まれ

(数え年七歳)

令和三年生まれ

(数え年五歳)

令和五年生まれ

(数え年三歳)

※数え年でなくてもお申込みいただけます。

祈禱料 一万円

授与品 御守・千歳飴・御幣

申込 ①興正寺公式サイト

②来寺

※要事前申込

七五三詳細、WEB申込はこちらから



奥之院大祭

日時 十一月十五日(土) 十三時

場所 東山本堂

特別祈禱料 千円(先着二十名)

事前申込可

※遙拝申込可、護符は後日納経所にて授与。

祈願ロウソク 一本 百円

季節の室礼〔予約優先〕

毎月、茶室竹翠亭で季節を感じる室礼をご覧ください。寺の宝物もお楽しみに。

日時 長月の室礼

九月十二日(金)～十八日(木)

神無月の室礼

十月五日(日)～十一日(土)

霜月の室礼

十一月十四日(金)～二十日(木)

十時～十六時(最終入館十五時半)

場所 竹翠亭

拝観料 五百円

※拝観券提示でライブラリー・サロン華宮での抹茶割引あり

「想耕茶会 虫時雨の席」〔要予約〕

涼風につて虫の声が聞こえる季節です。音とともに楽しむお茶会です。

日時 九月十九日(金)

①十時～②十三時～

場所 竹翠亭

参加費 三千円

申込 WEB受付

子ども寺子屋くらぶ

―枯山水の箱庭―〔要予約〕

箱の中に、石と白砂、苔、流木などで心に浮かんだ風景を思いのままに作ります。簡素な中にも奥深い作庭体験ができます。

日時 十一月二十九日(土)

①十時～十二時
②十三時～十五時

場所 竹翠亭

対象 小学生

参加費 二千円(材料・呈茶代含)

付添 五百円

申込 WEB受付

田中優子 講演会〔要予約〕
「江戸文化と
蔦屋重三郎」

NHK大河ドラマの主人公・蔦屋重三郎を中心に、吉原遊郭や作家、浮世絵師たちの仕事を紹介。

日時 九月十四日(日)

十三時半～十五時

受付／十三時～

場所 光明殿大ホール

参加費 三千円

申込 WEB受付

能楽に親しむ〔要予約〕
「から紅に
水くくるとは」

宝生流シテ方・内藤飛能氏が秋にまつわる曲目を紹介。間近に舞や謡いを体感できる講座です。

日時 九月二十一日(日)

十時半～十二時 受付／十時～

場所 竹翠亭

参加費 三千円(呈茶付)

申込 WEB受付

マルシェ茶席〔要予約〕

僧侶のお点前によるお茶席です。初めての方も楽しめます。

十月三十一日(火)

十二月三十一日(金)

十時～十二時／十二時

場所 竹翠亭

茶券 一席 千円

申込 普門園拝観予約より

舞踊〔要予約〕
「森に響く
五十鈴たたら舞」

舞踊・加藤おりは、俳句・馬場俊吉、太鼓・まといの会が千燈供養会の奉納舞を密厳堂で披露。

日時 十月二十五日(土)

十六時～十七時

受付／十五時半～

場所 密厳堂回廊

参加費 千八百円(護摩木付)

申込 WEB受付



普門園拝観
(室礼)
マルシェ茶席



講座・催し
WEB申込

催事のご案内



4

1／季節の室礼 2／田中優子 講演会
3／舞踊 4／子ども寺子屋くらぶ



3



2



1

縁日【毎月】



28日	不動明王	不動護摩堂	10時30分
24日	地藏菩薩	能満堂	13時
21日	弘法大師	弘法堂	10時30分(マルシェ)
18日	観世音菩薩	観音堂	13時
15日	阿弥陀如来	東山本堂	13時
13日	虚空蔵菩薩	能満堂	10時(露店)
8日	大日如来	大日堂	12時30分
5日	大随求明王	西山本堂	10時(露店)

講座一覧

講座WEB申込



講座名	講師	開催日時	場所	支具料	申込
住職と語らう一丈の会	西部法照住職	9/24 10/22 11/26 10時～12時	ライブラリーサロン 華宮	1000円 呈茶付	予約優先 公式サイト 講座カレンダー
阿息観	杉浦宣秀僧侶	毎月10・20・30日 14時～16時 (9/20休)	観音堂	無し	不要
遊翠の心・阿息観	西山海良僧侶	9/30 10/28 11/11 10時～12時、14時～16時	竹翠亭	1,500円	要 公式サイト 講座カレンダー
遊翠の心・写経	西山海良僧侶	9/9 10/14 11/4 10時～12時、14時～16時	竹翠亭	1,500円	要 公式サイト 講座カレンダー
写経写仏 はじめて講座	興正寺僧侶	毎月21日マルシェの日 11時～13時半 (9/21休)	光明殿大ホール	1,000円	不要
御詠歌入門講座	鈴村智弘僧侶	9/6・28 10/4・18 11/8・15 はじめての方 9/27・11/29 14時～16時	光明殿小ホール	無し	不要
曼荼羅講座(全10回)	中道圭照僧侶	9/28 10/4 11/1 14時～16時	普照殿二階暁堂	1000円 呈茶付	要 公式サイト 講座カレンダー
遊翠の心・きもの装い	竹翠亭職員	9/3・10 10/1・8 11/5・12	耕雲亭	2,000円	要 公式サイト 講座カレンダー
TERA-YOGA	西口のぞみ	毎月21日 10時～11時半、13時～14時半	観音堂	2,000円	要 公式サイト 講座カレンダー

【お知らせ】 令和7年7月1日より、祥月合同供養会は当山行事日を除く毎週土・日曜日14時から密厳堂にて厳修いたしますので、ご都合の良い日に参拝ください。

2025・秋

令和7年7月21日発行
発行所 八事山興正寺

TEL 052-832-2801

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78番地

<https://www.koushoji.or.jp>

興正寺

検索



公式サイト